

東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設
基本構想検討会議資料(第4回)

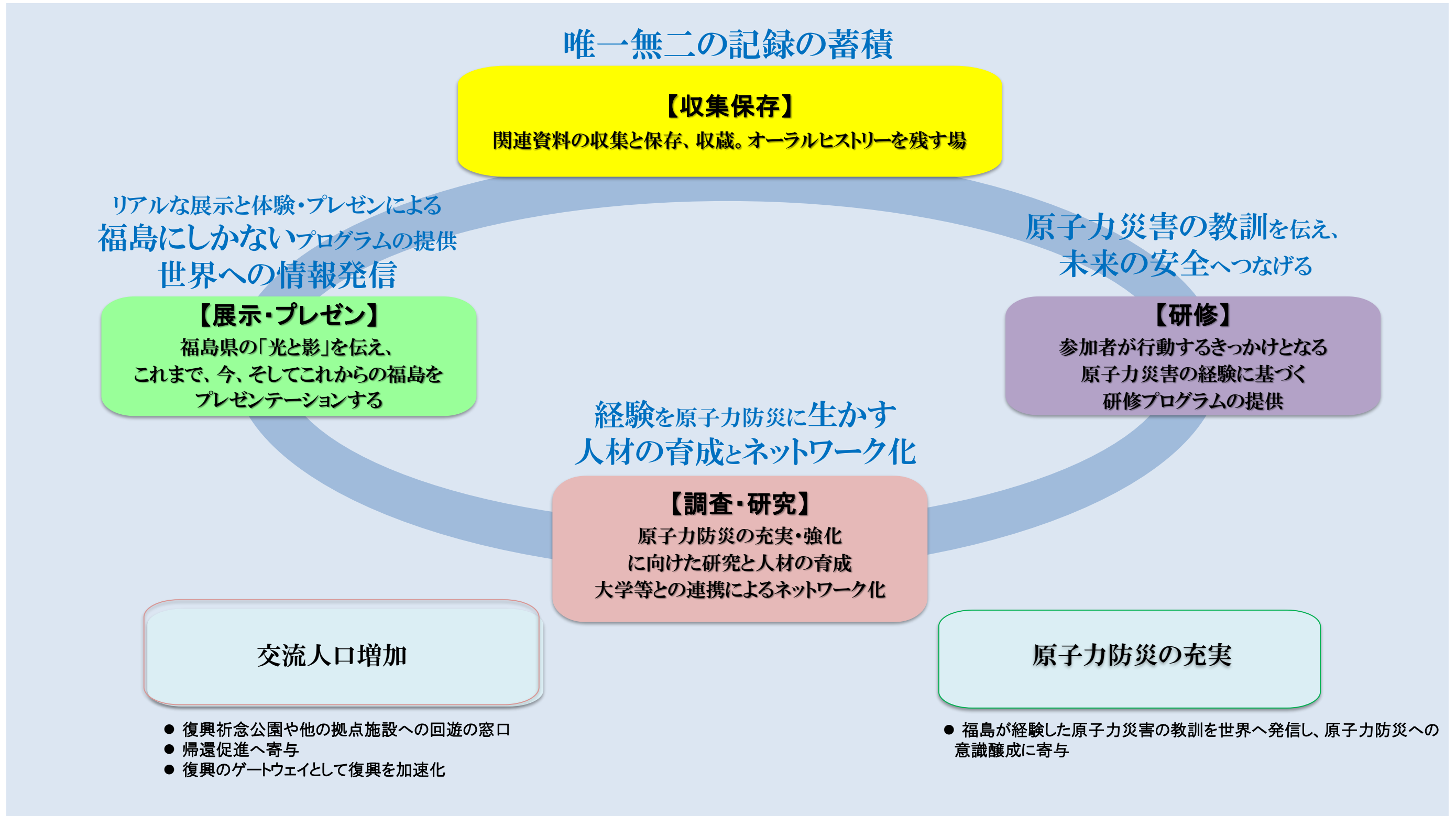
2016年12月6日
福島県企画調整部文化スポーツ局
生涯学習課

■基本理念

- 世界初の複合災害と復興の記録や教訓の未来への継承・世界との共有
- 福島にしかない複合災害の経験や教訓を活かす防災・減災
- 福島に心を寄せる人々や団体と連携し、地域コミュニティや文化・伝統の再生、復興を担う人材の育成等による、復興の加速化への寄与

平成27年度東日本大震災・原子力アーカイブ拠点施設
有識者会議の提言書より

■アーカイブ拠点施設の展開



■アーカイブ拠点施設の展開・役割から検討する必要設備等

【収集保存】

1. 資料の収集

震災遺構、映像や写真、オーラルヒストリーの記録など、多様な資料形態に対応する

- | 検討事項 | |
|-----------------------|--|
| ● 資料の形態にあわせた収集スペースの整備 | → 大型資料収蔵庫、貴重資料収蔵庫等
→ 展示室バックヤードを有効活用した資料保管 |

2. 資料保護

津波対策等、災害への備えについての対策

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ● 建築の工夫 | → ピロティ等を取り入れた建築 |
| ● 収蔵庫機能、設置階等の検討 | → 収蔵庫部分を一部上階に設計するなどの検討 |

3. 資料の整理のしやすさ

収集する膨大な資料を適切に整理する対策

- | | |
|-------------------|------------|
| ● 資料・備品が搬入しやすいづくり | → 車両搬入口の確保 |
| ● 資料を整理するスペースの確保 | → 荷解室等 |

4. 展示更新に対応しやすい資料保存

データの追加や削除、改編を行いやすいコンテンツづくり

- | | |
|---------------------|------------------|
| ● 資料デジタル化対応の検討 | → 調査研究部門との連携 |
| ● 県内他施設との情報共有、連携の検討 | → 資料やデータの共有化の可能性 |

【調査・研究】

1. 原子力防災に関する研究

福島の実験により蓄積されたノウハウを発信する

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| ● 初動、長期化、風評被害など、その時ごとの対応の記録から更に深めた研究 | → 日常的な研究者の滞在エリアの確保 |
| ● 他機関との連携・共同研究など | → 研究に取り組むスペース |
| ● 国際シンポジウム、調査・研究成果の発表 | → 成果発表や会議を行うことができるホール |

2. 人材の育成

実践的な災害及び原子力防災研究に取り組む

- | | |
|--------------|----------------------------|
| ● 人材のネットワーク化 | → 大学、自治体、民間企業等との連携を促進する会議室 |
| ● 研究成果を展示へ反映 | → リアルタイムな情報更新システムの導入 |

【展示・プレゼン】

1. 蓄積された資料・証言に基づく展示記録と記憶の発信

- | 検討事項 | |
|---------------------|-------------------------|
| ● 光と影をきちんと伝える | → 資料展示+人を中心とした活動を行う場の検討 |
| ● 事実、経験「人のことば」で伝える。 | |

2. 原子力防災の蓄積型、体験型の学習福島にしかない、経験や研究の蓄積を体験を通して学ぶ展示

- | | |
|-----------------|----------|
| ● 実践的な学習で効果を高める | → 体験型の展示 |
|-----------------|----------|

3. 県民参加による生の声、想いの発信過去、現在、未来への想いを伝える

- | | |
|--------------|------------------------------|
| ● 語り部の実演 | → 語り部、ボランティア控室、話し合いの場 |
| ● 個別事業の企画、運営 | → 人が集える空間
→ 人を含めた展示エリアの活用 |

4. 現在進行形である

原子力災害は、現在進行形であることを伝える

- | | |
|------------------------------|--|
| ● 日々変わりゆく現状、これからをリアルタイムに公開する | → 調査・研究部門、資料収集、研修の各機能との連携によるリアルタイムな情報更新システムの導入 |
|------------------------------|--|

5. 世界への発信

国内外に対応した情報の発信

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ● 展示やプログラムの多言語化 | → 多言語解説システム
→ 案内 |
|-----------------|---------------------|

【研修】

1. 原子力防災研修の実施

展示や資料を活用した研修の実施

- | 検討事項 | |
|---------------------------|-------------------------------|
| ● 視察・体験を通じた多岐にわたるプログラムの提供 | → 見る・体験する展示+座学を組み合わせた効果的な研修の場 |
| ● 団体向け研修 | → 団体受け入れ可能な研修室の整備 |
| ● 研修成果発表 | → 会議等を実施できるホール |

【交流人口の増加】

1. 交流人口の増加

多くの人が訪れる周遊の拠点

- | 検討事項 | |
|------------------------|---|
| ● 拠点としてふさわしい外観や外構の整備 | → 屋外展示、シンボリックな外観など |
| ● 人が集い、交流を醸成し、滞在しやすい施設 | → 団体に配慮したエントランスホール
→ カフェ、レストラン、物販
→ 誰もが使いやすい多目的トイレの設置 |

(双葉町内復興拠点 基本構想より)

【産業交流センター(仮称)】

- ・就業者を対象とした生活関連サービス(小売・飲食、救護等)や会議・研修の場を提供する等のための施設として、「産業交流センター(仮称)」の整備を推進
- ・町民の一時帰宅の際の滞在・交流施設としても活用を図り、快適な一時帰宅環境を実現
- ・また、復興祈念公園等への来訪者に対するサービス提供の拠点として活用し、アーカイブセンターとも連携しながら地場産品の販売や福島県の食材を活用した食事を提供する等により、産業振興・地域活性化を図る

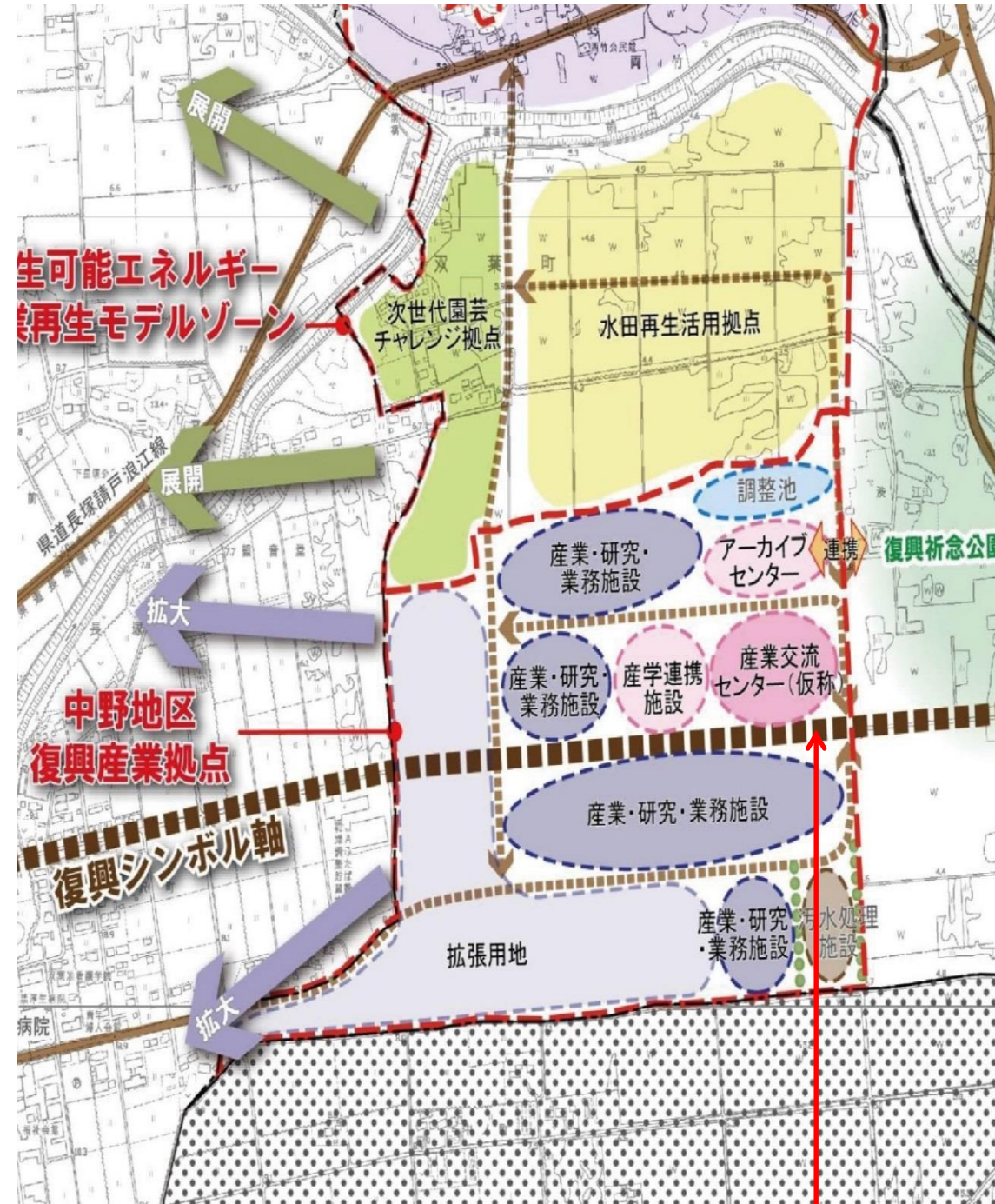
(想定される機能)

- ・会議室・研究室、小売・飲食店舗、診療所、宿泊施設(短期賃貸住宅)、町民一時滞在施設、防災施設 等

*津波被災地であるため、津波避難ビルの機能を併せ持つものとして、中層の建物を想定



産業交流センター(整備イメージ)

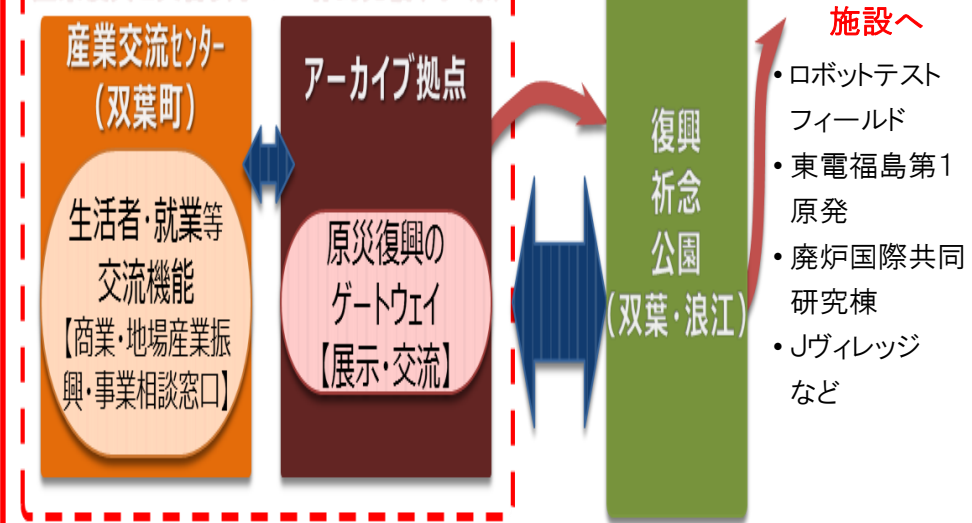


(双葉町内復興拠点 基本構想より)

イノベーション・コースト構想の情報発信拠点

イノベーション・コースト構想の一環として、ロボットテストフィールド等様々な拠点、市町村の関係施設と連携を図る。

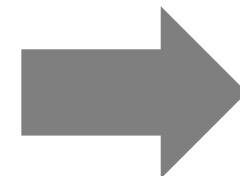
産業復興と災害伝承の一体的発信(町・県)



アーカイブ拠点施設と隣接する産業交流センター(仮称)

検討

- 一体感をもった整備による魅力アップ
- 相互利用による効率化・周遊性のアップ



両施設連携のもと、効率的・効果的な施設運営

双葉町産業交流センターとアーカイブ拠点施設における連携を推進

アーカイブ拠点施設が担う機能

【収集保存】

資料収集、検索分類、収蔵デジタル化

- 収集・保管・収蔵デジタル化
- レファンス

【展示・プレゼン】

効果的な展示

シアター、ディスプレイ、AR等技術

地域振興

ロボット実演(一部)

語り部

教育旅行、学びの場

- 原発事故、事故の影響と対応、県民の想い
- 原子力防災・体験学習
- 「帰還」へ向けた取り組みの紹介
- 復興の現状をリアルタイムに発信
- 6次化など地域の新たな産業紹介、県産品の安全性PR
- 地域魅力紹介、回遊プラン紹介
- ロボット実演、イノベーション・コースト情報
- 語り部実演
- 旅行教育、団体旅行の受け入れ

【調査・研究】

研究

人材育成

- 原子力防災の充実・強化に向けた研究
- 他機関との共同研究
- 国際シンポジウム、調査・研究成果の発表
- 人材のネットワーク化

【研修】

原子力防災研修

研修成果の発表

- 視察・体験を通じた研修
- 団体向け研修

その他、復興拠点の中核施設として考慮すべき機能

地域交流

- 販売、飲食、滞在
- ボランティア育成
- 地域魅力紹介、回遊プラン紹介

【双葉町産業交流センター】

双葉町内復興拠点基本構想より

- 産業振興
地場産品の紹介や販売
福島県の食材を活用した飲食提供

- 会議・研修の場の提供

- 生活関連サービス
小売店舗、飲食店舗、診療所

- 復興祈念公園等への来訪者サービス、飲食店舗、物販店舗
周辺地域の紹介、地域交流の促進

- 快適な一時帰宅環境の実現
宿泊施設、町民一時滞在施設
短期賃貸施設

※ 産業交流センターの機能、設備等については、双葉町において今後検討していく。